

あとがき



「理究」第7回研修会：コミュタン福島

教育現場の多忙化、子どもたちのメディア漬けと自然体験離れが危惧される中、子どもたちが理科授業で見せてくれるキラキラ輝く瞳と、真剣に追究するとき自然と前のめりになる姿勢は、私たちに勇気を与えてくれます。本資料の実践事例は、各執筆者が学級の課題を解決すべく、子どもたちとともに試行錯誤しながら実践し、作成したものです。不十分な点や表現が違っていたりすることをご了承の上、教材研究にご活用いただければ幸甚に存じます。

子どもの主体的な学びを促す単元構想図を作成した先生方に「作成してみて率直な感想は？」と質問したときの声をご紹介します。

「教材研究でノートにメモをしてきたが、1ペーパーにまとめる手法で考えがすっきりできた。」

「単元の最初から最後の到達点を見通せることで、発問にも困らなくなった。」

「授業研究で指導案を作成するときも、単元構想を作成しておくことで、指導内容や子どもの思い、自分のなすべき手立てがはっきりするため、かえって時間がかからないよ。」

「1時間だけの授業研究ではなく、単元をとらえて授業改善を図ることができた。」

など、理科の指導案を書いたことのない若手からベテランまで、単元構想の重要性を語っています。

問題解決的な学習は、どの教科でも成り立ちます。福島の子どもたちが深い学びの姿を具現し、資質能力を身につけることができるよう、ともに授業改善に励みましょう。

本集録作成にあたって、ご助言いただいた私たちと同郷の筑波大附属小副校長佐々木昭弘先生、文科省教科調査官鳴川哲也先生、さらに執筆者の所属校、その他ご支援ご協力をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

また、ご覧いただいた皆様からのご意見をお待ちいたしております。本事例のデータは、後日事務局校等のWebページに「1ペーパー単元構想図集」として掲載予定です。 (発起人)

○授業実践・執筆

◇初等理科研究サークル「理究」(※作成時在籍校)

藤井千絵(田村市立滝根小) 藤井 宏(※西郷村立小田倉小) 大室 聡(田村市立美山小)

鳴原 卓(郡山市立明健小) 金澤重之(中島村立滑津小) 新田幸奈(田村市立都路小)

◇田村市立滝根小学校 松崎真理子 鈴木真由美 岡田幸子 佐藤純子 渡邊知美

◇田村市立都路小学校 菅野里美 尾形温子 佐久間響子

○作成協力

◇「理究」…福島大附属小理科研究部 新垣雅喜(郡山市立金透小) 遠藤謙一(田村市立船引小)

◇「理究」発起人…吉田 勇(コミュタン福島) 安瀬一正(田村市立都路小)

◇ 山本恒河沙(田村市立都路中)

○表紙写真協力 田村市立滝根小 田村市立都路小 中島村立滑津小 郡山市立明健小

発行 令和3年3月 非売品

発行者 初等理科研究サークル「理究」

事務局 田村市立都路小学校 〒963-4701 田村市都路町古道字北町24 TEL0247-75-2004

○本冊子は、  公益財団法人ちゅうてん教育振興財団 令和2年度教育振興助成により作成しました。

子どもの活動から生まれる問いを



授業後に理科室から立ち去りがたい子どもたちを



子どもの側からの理科授業に

